

様式第3号（第8条関係）

事業計画書

団 体 名	島本国際交流協会 Shimamoto Cultural Exchange Association
選 択 テ ー マ	テーマ② にぎわい創造促進事業
実施予定事業名	島本エリア観光情報発信の強化プロジェクト（II）
本事業における 補助金交付回数	1回
事業の目的	令和3年度補助金認可事業を継続進化させ、地域の更なる活性化を期す。歴史的に不可分の観光領域をカバーし、京となにわが出会う街を水と茶室をテーマにした散策マップ改訂版の発行で広く来町者に地域の魅力を発信し続ける。エリア情報発信強化の一役を担っている島本駅・山崎駅の観光情報スタンドを定着させ地域住民への浸透を図る。地域の観光情報冊子の更なる充実と情報発信基地の長期的運営を目指し、英語通訳ガイドの新規募集と質的向上を図る。訪日外国人復活に備え、大阪と京都の中間の地の利を活かし日本文化の生活体験型おもてなしを目指す。
事業の対象者	町の魅力を町内外へ発信することに関心を寄せるあらゆる世代の住民
事業の内容 (いつ、だれが、どこで、何をするのか具体的に記載して下さい。)	① 島本エリアのガイドマップ刷新版を英文と邦文で編集・発行(10月) 山崎・水無瀬界限散策マップ刷新版を英文と邦文で編集・発行(12月) ② JR 駅に設置済みの情報スタンドの改善及び島本町の支援を得て、阪急大山崎駅および阪急水無瀬駅構内に観光情報基地設置を目指す。 ③ 通訳案内士による英語ガイド実践講座を新規開講し、登録ガイド数の拡大と日本文化の紹介、および地元や京都の案内の実践力向上を図る。
周知（募集）方法	広報しまもとへの掲載、町の掲示板にポスターを掲示
実施場所	マップ編集会議はふれあいセンター、英語ガイド実践講座は同センターで日本文化を学習し、島本近辺と京都の寺社で現地研修を数回実施予定
実施時期・回数	マップ編集会議は6月以降毎月1回実施、情報発信基地巡回は月3回、英語ガイド実践講座は6月体験会、7月以降毎月2回計19回の開催を予定
参加予定者数	マップの編集・配架＝約20人、観光案内スタンドの運営・管理＝約10人、英語ガイド実践講座は各回平均12名が参加×19回＝のべ約230人想定。
事業の効果 (特に補助金で実施する内容をアピールして下さい。)	水無瀬神宮と妙喜庵を案内する散策マップで京となにわが出会う境界の観光情報を提供。飲食店・ギフト店に配架され、町内最大の発行部数は来町者増加によって島本中心部の活性化に寄与。英文・邦文同時発行で編集の効率化と山崎蒸溜所見学再開に備える。JR 駅の観光情報基地は島本町発行の刊行物も含めた情報基地に定着させ、地元の観光スポットの認知度高揚が図れる。英語ガイド実践講座は住民の姉妹都市交流活性化を図り、併せて来日外国人復活後の日本文化紹介観光ガイドの人材を育成。
今後の展開	補助金交付終了後の自立に向けた展望等 島本ガイドマップおよび地元の散策ガイドは情報掲載の飲食店協賛費で長期発行が可能な環境を作る。観光情報基地はガイド登録者の増員で永続的運営を図る。併せて来日客復活後の異文化交流催事実現に備える。 事業の最終目標・到達点等 英語ガイド組織は民泊や旅行業者と提携し、郷土案内による異文化交流を促進。観光情報基地の究極は道の駅「やまざき」の実現可能性を探る。

※補助対象事業が複数ある場合は、上の表を追加し、事業ごとに状況を記載すること。

※参加予定者数欄には、可能な範囲で参加者の内訳割合を記載すること。また、複数回実施する場合は、総数は延べ人数を記載し、1回当たりの平均人数も記載すること。